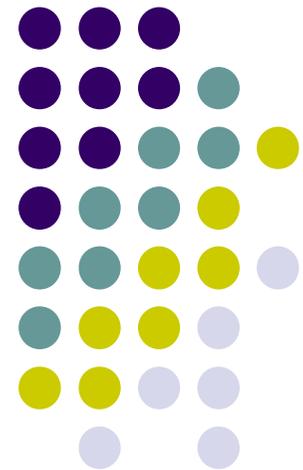


安心・安全防災イキ・イキ プラン

社会福祉法人 温真会
中士幌児童ステーション





団体及び地域概要

- 中土幌児童ステーションは子育て支援センター・保育園・児童センターが合築された、0歳～高校生までを対象とした児童総合施設です。
- 施設における防災訓練で痛感することは、年齢による子どもたちの防災能力の差です。
- この年齢差を地域に当てはめると、子どもからお年寄りまでの多様な人達を含んだ地域防災の備えは、はたして万全なのかという不安がよぎります。



プロジェクトの背景

- 北海道東部は約20周期でマグニチュード8クラスの大地震に襲われます。
- 被害が最小限なのは、寒冷地住宅ゆえに基礎がしっかりしていることと、平野部のために山麓に住宅がないことです。
- そのことが、かえって地域防災を軽んじる結果になり、成功体験が形だけの防災計画になっています。
- 我々を取り巻く地域社会状況は、この20年で大きく変わりました。
- 社会変動によって少子高齢化、動き方の多様化による日中人口の減、核家族化に伴う高齢者世帯、独居老人の増加は、新しい形の防災計画、防災教育を必要としていることを示唆しています。
- 今一度、地域の実情に即した防災計画・防災教育の構築が急務です。



プロジェクトの目的

- 今一度、地域防災計画、地域防災教育を再考し、現状に即した防災計画、防災教育を開発する。
- その為には、地域を網羅し、地域防災を考える場としての地域防災委員会を立ち上げる必要がある。
- 立ち上げにあたり、暫定処置として、中士幌児童ステーションが呼びかけの主体となる。

実施内容



- 形だけの防災計画ではなく、現在から近未来を見通した、地域の実情に即した総合防災計画を立案するために「中士幌地域防災委員会」を設立した。
- 委員会で人口比率、人口分布、時間別人口動態、過去の災害事例、等の実態調査を実施した。
- データを基に、各種災害シュミレーションを行い、新しい防災計画、防災教育の開発を実施中。



7/2防災委員会準備会



成果

- 行政諸機関・公民館・小学校・児童ステーション・PTA・婦人会・老人クラブ・町内会等の地域諸団体と一般住民が一同に会し、協議する「中士幌地域防災委員会」が発足した。
- 行政主導ではなく、地域住民による地域活動というところに、地に足のついた細やかな防災計画が立案されつつある。

課題

- 地域社会の変化による、子どもや高齢者などの防災弱者を具体的にどのように守り、教育するかが、防災委員会に於ける目下の課題です。
- 次の地震まで残された時間は約11年です。スケジュールを組み防災委員会で「安心安全地域防災イキ・イキプラン」の実現化を急ぎたい。



災害時ポンプ水汲み訓練



災害時炊き出し訓練